

五、変 災

(1) 滑川郷の大火

昭和三十五年三月二十日滑川地区郷部落に大火があつた。連日の晴天続きで異状乾燥注意報、及び強風注意報の出ていた当日午後一時頃民家で三棟を蒸していたかまどの火の粉が突風にあおられて萱葺屋根に引火したのが原因であつた。消防団も出動したのであつたが地形不便、急坂に家屋櫛比し、連日の晴天続きで異状乾燥という悪条件が重なつて意の如くならなかつたものである。

八戸二十四棟全焼、老母一人、牛二頭、山羊二、綿羊一、鶏多數焼死、米穀衣料農具等すべて鳥有に帰し、更に裏山に延焼、山林二五〇町歩を焼き、翌二十一日午前三時漸く鎮火した。罹災者四十四名、損害一億五千万円といわれている。町当局は直ちに救援対策をたて、罹災者の救援に当つたが、更に各方面の温い同情救援をえて次のような結果をみたのである。

(役場扱、婦人会扱、対策本部扱総合計)
現 金 三五一、六九九円



道路使用不能（4米以上食達っている）川内町音田の地にり



水田が殆んど破壊した川内町音田

この地区は昭和三十五年地に地区の指定を受けたが、年々地核の変動激しく、一年間で一枚の水田が三・四枚に分割しなければ耕作ができない状態であった。県においてその対策として、昭和三十八年からボーリングをして、地下水の測定、汲出し等を行なつていたが、台風による豪雨のた

来襲の集中雨を受け、音

田柳層谷に地にりが起きた。

この地区は昭和三十五

年の現物救援があり罹災者も再起を誓つてゐる。

(4) 河之内音田地区の地にり

昭和四十年九月十七日台風二十三号及び二十四号の連続

の現物救援があり罹災者も再起を誓つてゐる。

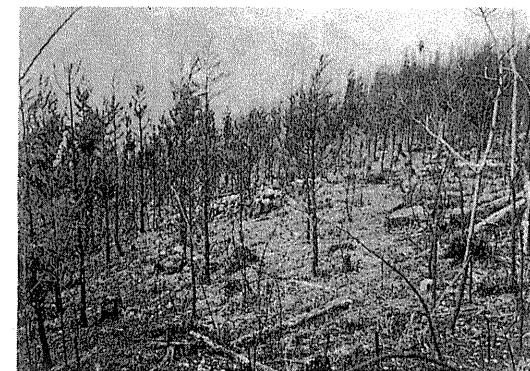
衣料 八五一点

は留守中のいおりの火から。損害二百万円と推定される。

四戸七棟全焼、十四人の罹災者を出した。

町内からは現金 一・六、八六〇円

白米 四石五斗八升一合五勺（十四俵）



郷の大(昭和 35.3.20) の山林焼跡

米 四二六四・匁

（約六三俵）

衣料品 多 数
日用品 多 数
応急住宅の建設、
救援物資の移送、対策本部の設置等を了

えた五月五日、郷、白山神社に於て川内

町長はじめ災害対策本部、罹災者参集し更生祈願祭を執行

し町役場扱の救援物資の全部の交付を終了して、ここに自立更生の第一歩を踏み出したのであった。

(2) 昭和三十八年の大雪と長雨

昭和三十七年末から降りはじめた雪は霰、霰、吹雪と断続して、消えては積り、三十八年一月九日には平地部でも二十粩の積量をみた。山地部は融けることもなく固まってはその上に降り積るので、通学困難で臨時休校した学校も

このため町、県、国に於てこの長雨被害の対策として災害補償、災害融資等の方策が講ぜられた。

(3) 土谷落出の火災

昭和三十九年三月二十四日、落出に火災が起つた。原因

	平年三十八年			降雨量			降雨量			雨天日			曇天日			その他			件名	被	被					
	四月	五月	六月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	正月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月				
	一一・六	一一・九																								
	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	ミリ	
	一〇・六	一〇・九	一一・九																							

あつた。約一ヶ月の間は交通機関が杜絶し、地肌をみるとなく過ごすという有様。二月中旬になつて漸く雪の世界から解放されたことができた。近年まれな長い大雪で、農作物にも、山林立木にも多大の被害があつた。

三月、四月、一息した所が、五月はじめ頃から霖雨に見舞われた。次表でもわかるとおり、五月は平年の四倍の雨量、雨天疊天三十日という天候で、麦の収穫皆無。農民は全く麦稈の処置に困つたものである。被害状況次のとおり。

め、柳層谷一帯十町歩に及んで流れ出し、田畠は凸凹を生じ、稻田は波のようにシュー曲し、道路は至る所で寸断され、その断層一丈に余る箇所數ヶ所、見るも悲惨な形状を呈するようになった。下部の五戸の民家は家財を疎開し、その内二戸は家屋の取こわしまでして、避難したが、幸にも雨もやんで人畜に被害はなかった。

県では直ちに下部に一、七〇〇万円を投じて堰堤の構築に着手している。

尚、この災害復旧として國より九四・三乃至、九八・二ペーセントの高率補助を受け四ヶ年計画で復旧に着手した。

事業名 計	事業費 二、三〇千円	事業量 畳反	事業概要		国庫補助率 六・三%
			農道保全	農道地	
三、三〇K	三、三〇	三、三〇	井隧溜水戸道池路	畠反	
毛、七五	毛、七五	毛、七五	本	米	
				米	
				米	

六、人口動態

(1) 川内町人口動態

(毎年十二月末調)

年度	世帯数	人口			自然的人口動態(A)		社会的人口動態(B)		増減 A±B	人口平 密度 人/平方 キロメートル	備考	
			男	女	出生	死亡	増減	転入	転出	増減		
30年末	2,408	11,088	5,412	5,676	200	94	106	481	605	△124	△ 18	100 4月25日三内 村川上村合併
31	2,576	11,860	5,804	6,056	208	76	132	349	579	△230	△ 98	106 9月1日滑川明河地区合併
32	2,555	11,808	5,778	6,030	215	71	144	357	553	△196	△ 52	106
33	2,493	11,681	5,713	5,968	197	94	103	372	602	△230	△127	105
34	2,447	11,574	5,656	5,918	193	83	110	383	600	△217	△107	104
35	2,369	11,337	5,541	5,796	159	92	67	356	660	△304	△237	102
36	2,362	11,294	5,521	5,773	131	99	32	582	657	△ 75	△ 43	101
37	2,414	11,317	5,595	5,719	147	88	59	689	725	△ 36	23	102
38	2,397	11,014	5,428	5,586	146	90	56	554	913	△359	△303	99
39	2,359	10,542	5,079	5,463	149	76	73	502	1343	△841	△768	95
40	2,319	10,353	4,999	5,354	150	86	64	468	728	△260	△196	93
41	2,304	10,090	4,838	5,252	71	89	△18	353	605	△252	△270	90